



奈良・人と自然の会

<わたしたちは大和の自然を愛します>



- * リレー随筆「お元気ですか」・・・「ツイッター／私の宝物」・・・
- * 新春講演会・若草山「ナラ枯れ」観察会<1月例会>
- * 「ならやま初出」は餅つき！！・自然観察レポート
- * ならやまの夢広がる・・・「今後の展望」
- * アブラムシ登場！「講座」④
- * 自然俳句・癒しの散歩道
- * 鳥シリーズ（レンジャク）・地域情報
- * 2・3月行事案内・・・「山の辺」野鳥観察会・信貴山～桃源郷
- * 今月の表紙・ペン画に寄せて

	1
	2
3	4
	5
	6
	7
	8
9	10
	11

ル一随筆 お元気ですか！

ツイッター

川岸美子

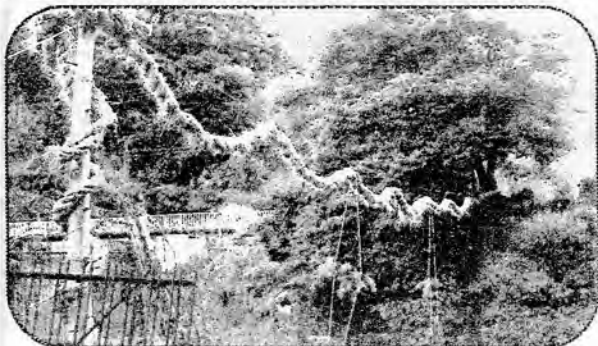
同窓会で一人の男性が「うちの女房が骨折して動かれへんので炊事が困るとるんや」、他の男性も「料理はようやらん」と言うので「そしたら簡単なレシピを送ってあげるわ」と言って別れました。

先日、夫の写真展の折り、彼らが来てくれました。「あの料理やって見た？」と尋ねたら「ああ、おいしかった、あれは好評やった、又易しいのん頼むわ」と言っていました。

個展の最終日の朝、又別の人から電話があり「嫁はんの具合が悪いので行かれへんので御免な」と連絡が入りました。なんとその日、又奥さんが6カ月も入院していると言われる男性が来られて「洗濯、掃除は機械がしてくれるけど食事は外食、スーパーで買って食べるけど飽きた、自分が病気になった方が良かった、今懺悔してるわ」と肩を落として帰られました。

最近は何時までも元気でいられる保障はあれへん。ゴミや垢では死にやあせん、自分が食べる事位出来んと困るのは自分やでーと・・・。

奥さんは何時までも元気でいられる保障はあれへん。ゴミや垢では死にやあせん、自分が食べる事位出来んと困るのは自分やでーと・・・。



竜田川のしめ縄



私の宝物

宮澤喜代子

昭和19年夏より1年半学童疎開を致しました。親と離れての生活は淋しく辛いこともあったでしょうが、それにも増して田舎の生活は面白く驚きと感動の連続でした。学校までの遠い道程も帰りにはグルメ街道となり、桑の実やグミの美味しさ、イタドリの酔っぱさなど文字通り道草で覚えた味でした。畦道には季節を追って花が咲き、嫌いな虫の仲間にも美しいものが居ることを知りました。青田の風や小川のせせらぎ等々、それらの光景は大阪に帰っても忘れられず私の宝物となりました。

そして高度成長期の頃だったのでしょうか、訪れた田舎はすっかりその姿を変え、車が走りゴルフ場が賑わっていたのです。私の宝物など思い出の中にしか存在しないのだと認識させられました。そして又何十年かが過ぎ奈良に住むことになりました。そこで思いがけずこの会に入れて頂き私は私の宝物に再会できたのです。驚きでした。今は時々会に参加させて頂き、宝物を確かめながら自然と共に居る幸せを感謝するばかりです。

◇◇◇◇◇新春講演会◇◇◇◇◇

『仏教への篤い想い』

—光明皇后—

水野正好先生（元奈良大学学長）を講師に招聘して新春講演会を開催した。平城宮跡保存に至る経緯から、平城京遷都、そして聖武天皇と光明皇后について、45名の参加者を前に先生の熱弁が展開され、瞬く間に2時間が経過した。

『北浦定政と関野貞の功績』

平城宮跡顕彰の先駆者は北浦定政で、測量車を引き丹念に現地踏査をし1852年に、「平城宮大内裏跡坪割之図」を作成した。1896年、この「平城旧址之図」を棚田嘉十郎が手に入れ、平城宮跡の検証について理解を得るため世に説き始め、定政の業績を顕在化するきっかけとなった。

東京帝国大学工科大学教授の関野貞は、1896年末から奈良に嘱託として赴任し、傷んだ古い寺院建築の修理を始めると同時に、県下全域の調査により80余棟の文化財候補建築のリストを作成した。そして、都の面影のなくなっていた平城宮跡に小高い芝地があり、第二次大極殿の基壇であることを発見した。



保存に貢献した人物として、近鉄電車の駅設置に英断を下した大野伴睦のことも忘れてはならない。

『光明子から光明皇后へ』

聖武天皇の皇太子時代に結婚。基親王の病死や長屋王の変などを経て、729年立后。737年の疫病流行で四人の兄を失う不幸に遭うが、皇后は仏教に篤く帰依し、東大寺、国分寺そして国分尼寺の設立を天皇に進言した。また貧しい人に施しをするための施設「悲田院」、医療施設である「施薬院」を設置して慈善を行った。天皇の死後四十九日に遺品などを東大寺に寄進、その宝物を収めるために正倉院が創設された。さらに、興福寺、法華寺、新薬師寺など多くの

寺院の創建や整備に関わった。皇后が仏教への篤い想いを抱いたのは、幼少の頃に父藤原不比等からの教え、そして、行基菩薩や鑑真和上への帰依によるものである結びとして、聖武天皇遺愛「正倉院宝刀」が1250年ぶりに確認されたことを展開された。

（紙面の関係で要旨のみ）（文責 鈴木末一）

『ナラ枯れ観察会』

1月22日（土）午後の行事としてナラ枯れの観察会が行われました。13:30東大寺南大門前に集合、ガイド役として奈良県庁から農林部森林整備課の山下係長と、もう1名の方がお越し下さり、参加者24名で出発しました。

観察場所は若草山の北に続くコナラを主とする落葉樹林です。大仏殿裏の道を山に向かって進み、途中で県庁の方からナラ枯れに関する資料の配付とカシノナガキクイムシ（略称：カシナガ）被害に関する基本的なレクチャーを受けました。その後はコナラの落ち葉が踝の上まで積もった山道を進みました。最後は少し急な上り坂で、がんばって登りましたので、目的地に着いたときには大寒のこの時期ですが、ほとんどの人が「暑い、暑い」と言っていました。

現地では被害木に巻かれたピンク、黄色、白色の各テープの意味合い、枯死必至のもの（ピンク）、被害回避の可能性のあるもの（黄色）、カシナガは取り付いているがほぼ心配のないもの（白色）に分類されていることや、ピンクテープが巻かれた樹木に対する対策の説明を受けました。また、カシナガが開けた孔（窄孔）や木屑も説明を受けながらつぶさに観察しました。テスト的に被害木を伐採して玉切りにし、ビニールシートで覆って薬剤薫蒸を行った現場も見られました。カシナガ被害の伝播経路、被害木発生の割合、今後予想されること、その他いろいろな質問にも答えていただき、有意義な観察会でした。帰路は別のルートを辿って下山し、二月堂への分岐点で解散しました。15:00頃でした。（文責 菊川年明）

ならやまプロジェクト・レポート 23年1月

1月6日 (木) 曇り 初出 参加者 41名

- ・新春初出は昨年を上回る41名の大盛会。午前中の初仕事は大型花壇の組立。12月の分と合わせて2基の花壇が自転車遊歩道を飾る。
- ・新年会の目玉は餅つき。本格的に甑で蒸して、臼と杵で搗く。こうなると「昔取った杵柄」とハイ・シニアの樋口さんが率先して手本を示す。まわりの掛け声に促されてヤング・シニアから女性陣に順番が回るころには、目出度く2臼の餅が搗き上がる。



- ・七草粥は女性の皆さんの心づくし。初春の野で摘んだ若菜のみずみずしい香りが立ちのぼる。
- ・新年会は、恒例の阿部会長の挨拶、川井顧問のご発声による乾杯でスタート。年々増える参加人数に呼応して、今年度は活動区域も一段と拡がり、活動内容もさらに充実しようとしている。
- ・「明るく、楽しく、元気よく、そして無理せず」をモットーに、安全で充実した1年となることを祈りたい。



1月13日 (木) 晴 参加者 29名

- ・新受託地の整備着手、放棄ゴミ軽トラ4杯分回収)。E地区の里山整備、畑の土壌改良作業。

1月20日 (木) 晴 参加者 34名

- ・午前中の通常活動後、佐保台ふれあい会館に移動して里山講習会を実施。3年間かけた樹木調査の成果について説明がなされ、今年度以降の里山管理の在り方、問題点について全員で討議した。

(古川 祐司 記)

ならやま里山林花だより

守口 京子

1月13日(木)寒さが厳しくなり、咲いている花がほとんどなくなり、黒っぽい緑色と茶褐色の景色となりました。そんな中でもネジキやヤマコウバシの赤い冬芽が目を楽しませてくれます。ジンチョウゲ、ツバキ、アセビなどの蕾もふくらんできました。「早く咲いてほしい」と思いながらのならやま活動です。

花…イヌガラシ、ウシハコベ、タネツケバナ

毎年赤いホタルブクロの花の咲く場所が、これから新たに整備する所となり、みんなでゴミ拾いをしました。すっきりと藪が刈られて現れたのはホタルブクロの根生葉です。大小のハート形の葉が道端にたくさん並んでいます。里山整備の活動によって野草の生育環境が変わり、そのことでより繁栄する物もあれば枯れて消滅する物もあります。ホタルブクロの場合はどうでしょうか?「がんばれホタルブクロ」と応援しています。



ホタルブクロの根生葉

ならやま鳥だより

小田 久美子

1月11日(火) 14種110羽 今月の特筆はレンジャク4羽(緋が一羽、あとは確認出来ず)とルリビタキ(♂若)でした。

【お願い】出水で発生した鳥インフルエンザは現在小康状態ですが、春の移動の時期も近づきました。家禽などに広がらないよう願っていますが、罹患した鳥を食べたカラスやタカ類などを含め異常な固体を目撃されましたら、日、場所、鳥名などお知らせ頂けたら嬉しいです。<小田まで>

天使の兜虫



竹本 雅昭

メス:あなた!!大変よ下界で私達の子がこの寒空に放りだされているわ。

オス:本当だ、残酷だ。どうしようってんだらう。

メス:あの子なんかとても重傷よ、助かるかしら.....

オス:だから言っただらう。彼等の働きで随分美しくなってきたが、まだまだ整備途中だから人間に近付いたらまずいよって。

メス:あゝかわいそうだわ。丸々としてとってもかわいいのに何とかしなきゃ。

オス:彼等ももう白髪混じりで孫もいる好々爺だし、チップを花壇に入れるだけで悪さはしないと思うけど。ほら、袋に集めてどこかで保護してくれるよ。きっと。

メス:あっちの方で湯気が上がっていていゝ匂いがしてるわ、まさか子供達を食べたりしないでしょうね。

オス:バカ言うんじゃないよ、そんな事したら子供達の遊び相手がなくなるじゃないか。

メス:ねえ、人間界の天使さまに守ってもらいましょうよ。

オス:余り人間の悪口を言っていると天使の羽根を取り上げられちゃうよ。

「ならやまプロジェクト」今後の展望



平成19年から始めた[ならやまプロジェクト＝7.33ha]の景観整備事業は、皆様のご尽力で順調に進展し、当初立てた計画は今年度で一応完了いたします。また、景観整備と並行して実施してきました、対象区域の生物の実態調査（野鳥、草本、樹木、昆虫、水生生物）も一段落し、調査したデータは、逐次印刷物やCDに収録しまして、ご関心ある方へご提供すべく準備を進めています。

さてフィールド全般の景観整備を進めてまいりますと、隣接する「西の京～斑鳩自転車道路」沿いに残った未整備の地区の荒廃ぶりが際立ってまいります。近時とみに増えてきた来訪者や散策を楽しむ利用者のために、快適な景観ゾーンをさらに広げよう…と提案がありました。幸い、今までの管理受託者の了解も得られ、奈良県風景観課と打ち合わせた結果、地続きの東へおよそ200mの整備に取り掛かることになりました。さらには、県の収用計画に沿って、南に隣接するオオタカの生息域を含む約8ha程の里山の保全管理も要請され取り組みたいと考えています。

管理する地域は、「佐保自然の森」1haと併せて、全域で16ha強に及ぶ一帯へと拡大いたします。

その構成は、①「よく手入れされた里地・里山林」②「チョウや小鳥そして四季の花を主体とした“佐保・自然の森”」④「観察と自然保護中心の地域」（上記）と、③多くの人が楽しめる“心安らぐ自転車と散策の路”このような全体図が描けそうです。こうした取り組みは 会員の皆様のご理解を頂きながら、継続した活動があってはじめて実現するものです。ご意見、ご提言を寄せていただきながら、ならやま一帯をよりよい地域へと創造し、変身させて行きたいと考えています。

(阿部和生)



やさしい昆虫講座 (第4話)

木村 裕

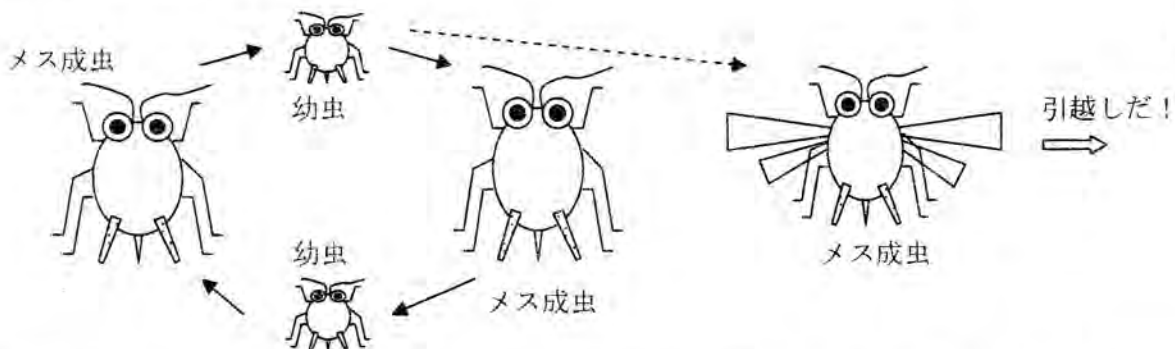
アブラムシと言えばどんな虫を思い浮かべますか？ 主婦の方は台所を我が物顔に走り回るアブラムシを、園芸愛好家はバラの新芽に集まる小さな虫の集団を思い浮かべることと思います。どちらも正解ですが、専門的には台所の主はゴキブリが本名で、油虫は愛称??です。バラの虫はアブラムシが本名でアリマキが愛称です。

今回は樹木や野菜、草花などの新芽や新葉に群がって汁を吸う小さなアブラムシ類について紹介します。キュウリの葉を丸めて縮らせる黄色の虫、キクの茎に整列するチョコレート色の虫、垣根のウバメガシの枝上にいる黒色の虫などはすでに顔なじみのことと思います。

体の長さが1~2ミリと小さいものが大半ですが、3~4ミリもある大型の虫もいます。体は柔らかく、体の末端近くに一对の細長い角状の突起があるのが特徴です。大多数の種類は成虫にも羽根はなく、外観は幼虫によく似ていて、どちらが親か子か紛らわしいです。現在日本には約700種類のアブラムシが記録されています。

成虫と幼虫は仲良く植物の新芽や葉裏に集まって数十~数百匹からなる集団をつくって汁を吸います。そのため口はセミのように細く長くストロー状になっていて、これを葉や茎に突き刺しておいしい養分を吸い取ります。人間に例えれば血を吸う蚊みたいなものですが、それが何百と集まって血を吸いとると想像すると寒気がします。

通常は女ばかりの女系家族で、かいしよのない男性はおらず、メスのみで繁殖を続けます。しかもメス成虫は卵ではなくて、幼虫を直接産みます。その幼虫は3回の脱皮を経て早くも7~10日後には新成虫となります。



成虫は毎日2~3匹の幼虫を産むので、1匹の虫がいると2週間後には500匹前後の家族となります。ねずみ算よりももっとハイペースで増え、あっという間に住処は手狭になります。そのときには羽根のある成虫が現れて新しい住処を求めて引っ越してゆきます。また、自分たちに快適な住処と食べ物を提供してくれた植物の勢いが衰えてきた時にも羽根のある成虫が現れます。

春~夏~秋とおおいに栄えていたアブラムシ一家も木枯らしの風音が聞こえるようになると、あわてて樹木に移動してそこでオス成虫を産み出します。寒さを乗り切るためには背に腹はかえられませんが、虫の世界もいろいろハイテク化されつつありますが、まだ寒さ対策は十分ではないようです。交尾後のメス成虫は樹幹の隙間や越冬芽の際に卵を産み付け、その卵で寒い冬を無事に乗り切って翌年のスタートになります。最近、暖冬が続いていることもあり、暖地では野菜や草花の地際や葉の込み合った隙間で繁殖を繰り返しながら越冬する虫も増えています。みんなそうなるとう男性は不要となります。

自然俳句栴

今年は卯年。本会も兎に因み、跳躍の年でありたいと思います。
1月6日。なら山 里地にて新年会。野趣を楽しむ。

手に取りし杵の重さよ事始め 八穂子

餅つきや人それぞれの杵の音 八穂子

鈴木氏の肝入りで昔の杵と臼。リレーの杵さばきが弾む。
八穂子さんの素直な一句に拍手。

里山は餅搗く音に賑わえり 末一

黄粉餅つきからつきと手が伸びる 末一

やんやんやの餅搗きが終わる。
黄粉餅の人気上々。餅箱またたく間に空っぽ。

かんさげ
竹筒の爛酒愛でつ恵比寿かな 秀夫

火加減が難しい。竹の香がふんと、酒豪たちご満悦。
それぞれが七福神の顔、顔、顔。

きよけい
杵の音に御慶のこゑも昂ぶりぬ 秀夫

御慶（新年の挨拶を指す。季語。）
杵の音に、めでた、めでたの声がこだまする。

<癒しの散歩道>



冬桜の春は遠くにありて

谷川 萬太郎

木枯らし吹きすさぶ去年の秋に あなたは北風に凍え震えていたね
小枝に身を擦り寄せ静かに萎み 可憐な花が一粒の涙を流し散った
切なくも心痛むその小さな胸を 暖かなまどろみの中で抱きしめて
再び会える喜びの春が来るまで あなたを優しく包むよに温めたい
恨めしき雪空の背中に向こうは 陽炎のように消えた冬の影法師だ

仮面舞踏会かい? レンジャクさん

小田 久美子

今月は都合で1/11(火)になり、それが幸いしてか、ビックリの出会いがありました。メジロ・ツグミの大群がわさわさ出入りして、私は左のシンボルツリーの柿の木を数えるのにおおわらわでした。右の柿に菊川さんが「レンジャク」を見つけられて「まだ1月ですのにねー。早くスコープ!スコープ!」とおつとり刀で、三脚を持たずにスコープを覗いたら慌てる手の振るえと手振れで焦点が合わな〜い。「落ち着いて 落ち着いて」三脚を付け改めて確認。レンジャクさんは「待ってらんないよー」とばかりに飛び立ってしまいました。そんなこんなで一羽が「緋連雀」と確認出来ました。あとの3羽は未確認。

この辺りでは知事公舎がレンジャクのポイントとして有名ですが、早春の2・3月が多く1月は少し早い方です。仮面の騎士のようにお洒落な顔で、「チリチリ ヒリヒリ」と可愛い声で鳴きながら、あなたの庭のピラカンサの実を裸にしているかも。リュウノヒゲにも来ているかも知れませんよ。



ちいきじょうほう

★【樫原】1月3日 庭にシロハラが今年は初めて・・・この日から毎日来て落ち葉を跳ね上げ餌探し7日には心配していたアオジのあおちゃんまできて一安心。

鳥達がやってくる場所にハスの鉢を置いてみた。今はハスも枯れて水ばかり。11日13時半シロハラが鉢の縁に止まる。思わず「やったー!」その後ヒヨドリも縁に止まり水を飲む。うれしい日。

・12日散歩中高取川(樫原ニュータウン)でイソヒヨドリの♂そしてツグミ。13日明日香村でイソヒヨドリの♀
なんか気配を感じて庭をみるとヒヨやシロハラと目が合ったり

元日にはウグイスと・・・よい1年になり そうです。

(斎藤)

★【斑鳩】何百個と付いていたピラカンサの実が3日間でヒヨドリとムクドリに食べ尽くされました。

・20日竜田川の岸にオレンジの腹の色の鳥が・・・イソヒヨドリ?でも?体はシロハラに似ています。あまりここでは見ていません。図鑑で見るとアカハラのようなです。11月6日にも見ています。(勝田)

三室山から望む、法隆寺の五重の塔と若草山



行事案内

※原則：前日午後7時前のNHK天気予報で、降水確率(午前)60%以上の場合は中止

※当会の行事における傷害事故等については個人負担とし、当会は賠償等一切の責任は負いません

『ならやま里山林プロジェクト2月・3月の予定』

このプロジェクトは三井物産環境基金の助成を受けています

場所：奈良市奈良阪町・佐紀町の県有林（JR平城山駅下車徒歩10分）
—「ならやま会館」前の道路（ならやま大通り）の南側に広がる林地—

日程：

2月 3日	(木)	活動日	⋮	3月 3日	(木)	活動日
2月10日	(木)	臨時山の日	⋮	3月 5日	(土)	公開イベント「シイタケを 植えよう」
2月12日	(土)	活動日 ・実習生受入れ	⋮	3月10日	(木)	臨時山の日
2月17日	(木)	活動日	⋮	3月17日	(木)	活動日
2月24日	(木)	活動日	⋮	3月24日	(木)	活動日
2月28日	(月)	雨天予備日	⋮	3月31日	(木)	雨天予備日

集合：現地ベースキャンプ地 9時 終了予定 3時

交通：①近鉄奈良駅 バス13乗場 8:23発 高の原行（平日・土曜）

②近鉄高の原駅 バス1番乗場 8:32発 JR奈良行（平日）

8:30発 JR奈良行（土曜）

①、②とも佐保台西口、または平城大橋で下車 徒歩約7分

携行品など：・弁当、飲み物、軍手（作業用具は現地にて用意）、寒さ対策

※環境保護のため、コップ・箸・椀などは各自でご持参下さい。

連絡先：担当幹事 古川祐司

鈴木

2月例会

「山の辺の道」野鳥観察会

オシドリ・ミコアイサなどの水鳥とニューナイスズメなどの冬鳥を見ましよう。

途中での楽しいティータイム・お買い物ツアーも期待して下さい。

日時：2月9日（水） 9時30分集合

集合場所：JR柳本駅

※【JRまほろば線】奈良9:02発→柳本9:26着

コース：柳本から天理へ（山の辺の道）

持ち物：双眼鏡・弁当・飲み物・防寒の用意

担当：小田

・勝田



☆ならやま・バードウォッチング

★日 時： 2月14日(月) 9:00 集合

☆集合場所： ならやま駐車場

★小雨決行。判断の難しい時は担当者に問い合わせてください。

☆担当者：小田 (・菊川)



<3月の予定>

「パソコン教室」開催

会活動にも随所に必要なパソコン操作。各自の一層のレベルアップを図るため、今年も「パソコン教室」を開催します。参加ご希望の方は、2月20日頃までに、事務局までご連絡ください。また「この点を重点的にやってほしい。」「これのやり方を教えてほしい」、本を読んでも人に聞いてもいまひとつわからない点など、率直なご希望を何でもご遠慮なくお寄せください。特別にお願いしている朱雀高校の専門の先生に、皆さんのご希望に沿って教えていただきます。

日 時： 3月2日(水) 13:00~16:30

場 所： 奈良県立朱雀高等学校 奈良市柏木町 248

講 師： 同校 情報ビジネス科々長 石田恵信教諭

連絡先： 事務局 寺田 孝

3月例会

信貴山から桃源郷へ

春を告げる草花やモクレン・花桃などの花木が私たちを大歓迎してくれるでしょう。初めての方も、行ったことのある方も 奮ってご参加ください。

1. 実施日： 平成23年3月23日(水)

2. 行 程： 近鉄信貴山下駅→(バス)→バス停信貴山→朝護孫子寺の参詣→近畿自然歩道→奥の院→桃源郷→近鉄平群駅で15時頃解散予定

3. 集合時間と場所： 9時10分 近鉄信貴山下駅集合

4. 担 当： 倉田 平岡 、 藤田

*詳細は会報第110号(3月号)でお知らせします。

平成 23 年 1 月度幹事会報告

日 時： 平成 23 年 1 月 12 日 (水) 10 : 00 ~ 12 : 00

場 所： 中部公民館 司会；弓場 書記；塩本

出席者： 幹事 14 名 顧問 1 名 計 15 名

- (1) 12 月末現在 会員数 132 名
- (2) ならやま P 参加会員数 4 月～12 月累計で 1,686 人
- (3) 管理受託地増加決定 現受託地東、自転車道路沿い 2800 m²を県より新受託
- (4) 近隣の小学校への自然観察教育グループを「自然教室チーム」と命名
- (5) 活動エリアの紹介パンフレット「ならやまの四季」制作発行 3 月中旬

表紙のペン画によせて

境 寛

● 昨年の 12 月には温かい冬かと思っていたら、年末から、正月にかけて寒波襲来、大雪をもたらしました。

● カレンダーの雪に埋もれた富山県五箇山の合掌造りをみて、昨年の岐阜、富山の旅を思い出しました。この冬は、豪雪でことのほか厳しいことでしょう。

● 日本有数の豪雪地帯という風土が、特徴的な屋根の合掌造りを生み出しました。

● 日本が誇る世界遺産として 1995 年に登録されました。

編集後記： *冬のならやまへお越しく下さい!! このシーズン周辺の山々の木々はほとんど葉を落としています。真っ青な空をバックに木々の枝に囲まれたベースキャンプ地の景色は得難いものです。観察路を歩くとホッとした気分になります。また、樹木の冬芽・葉痕などこの季節ならではの楽しみもあります。

*会報発送作業・編集会議日：3月号の作業は2月28日(金)午前9時から「西奈良ボランティアセンター」で行います。何かとお忙しいでしょうが、ご協力お願いいたします。

編集担当：勝田 均

奈良・人と自然の会事務所

会長 阿部 和生